

# 3 学年通信

## 5 月第 4 号

川崎市立川崎高等学校新 3 学年  
5/9 発行 担当 畑中久枝

明日、5/10 は母の日です。その起源には諸説あるようですが、よく知られているのは、100 年ほど前のアメリカ、フィラデルフィアの教会で、ある女性が亡き母を追悼するために赤いカーネーションを配ったのが始まりという話です。

日本で初めて母の日のイベントが行われたのは明治末期だそうです。100 年の歴史の中で、日頃のお母さんの苦勞をいたわり感謝を表す日となりました。カーネーションを贈る日としても定着しています。

学校休業によって家で過ごす時間が長くなり、家族の時間が増えたことでしょうか。そして、お母さんは、コロナ以前よりも家事が大変になっているのではないのでしょうか。感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

お母さん、ありがとう！

Mother's Day



### ■■■アフターコロナを考えよう■■■

生活科学科のみなさんへ (from 家庭科)

この変化する状況の中で、自分たちにできることは何かを真剣に探してほしいと思います。コロナの影響で、ファッション分野も食物(外食)分野も大きな打撃を受けました。中には、夢を諦めようとしている人もいるかもしれませんね。しかし、生活科学科に入った当時の気持ちを思い出してみてください。自分らしさを生かした専門性の獲得を目指してほしいと思います。休校期間に、ゆっくり自分自身を見つめ直し、将来像をしっかりと掲げ、アフターコロナに臨みましょう！

福祉科のみなさんへ (from 福祉科)

コロナの経験から学び、感染症への理解を深めましょう。その知識や体験をこれからの福祉の現場に生かしていくことが、みなさんには求められています。また、生物や歴史などから、社会を見る眼を養うことも大切です。コロナウィルスって何なんでしょう？ 人類の歴史にはどんな伝染病があったのでしょうか？ その時人々はどう生き抜いたのでしょうか？ 多角的な視点を持ち、常に学ぼうとする姿勢でいてください。

普通科のみなさんへ

受験生のみなさんには、基本的には受験勉強しかありません。授業を受けたり、質問したり、友達と教えあったり…。アフターコロナには、自学自習よりも豊かで活気ある受験勉強環境が待っています。そこで躍進できるよう、休業期間に苦手をなくしておいてください。苦手科目あるいは苦手分野の穴埋めこそが、合格へのパスポートです。

### ■■■母の日にちなんで■■■

■八巻先生の母の日の思い出

小学生の頃、母の日にカーネーションをプレゼントしたら、「花なんかいらない」と言われ、ショックを受けました…。それから大学生までは何か喜んでくれそうなものをあれこれ考えてプレゼントしていましたが、社会人になってからは、欲しいものを聞くようになりました。母の日は意外と現実的な問題解決の日？ になっているような気がします。父の日は外食の日です。

■垣内先生の母の日の思い出

学生の頃は、二人の兄と 3 人でお金を出し合ってプレゼントを用意していました。買いに行くのは、なぜかいつも私でしたけど…。母は毎年とても喜んでくれました。年に一回、こうして感謝を伝える日があるのは素敵だなと思います。

**If you want to bring happiness to the whole world, go home and love your family.**

**Mother Teresa**

### ■■■中村先生シリーズ■■■



《御触書》

1 手洗い 2 忠恕

(意味は自分で調べる)